

【報告】犬山市高齢者移動支援事業の進捗状況について

1. 令和3年度の内容

【入鹿地区（池野小学校区）でのアンケート】

◆調査対象：18歳以上の入鹿地区在住者

※令和3年4月26日時点の年齢

◆配付数：122通

◆回収数：122通（回収率100%）

◆結果：概要は以下のとおり

- ・回答者：60歳以上が77%。
- ・回答者の家族構成：自分以外の誰かと同居している人が88%。
- ・運転をしている人が80%。
- ・移動に困ることがある人：27%。
- ・移動に困ることがない人のうち5年後困ると思う人：16%。
- ・移動手段は、自分の運転または他者の運転が80%超。（農作業のみ徒歩も多い）
- ・自由記載欄には、コミバスのルートや時間、本数の検討を要望する意見が多数。

◆考察：以下のとおり

- ・現状では、自分の運転や他者の運転で生活が成立している。
- ・外出の機会を提供する手段のひとつとして住民相互の移動支援が選択肢として加わるには、担い手の確保が急務。

【モデル地区の選定及び実証内容の検討】

①モデル候補地区の住民を対象とした講演会

12月9日（木）午後7時～午後8時30分 於 犬山市役所2階205会議室

アドバイザー：特定非営利活動法人全国移動サービスネットワーク副理事長 河崎民子氏

②モデル候補地区の住民を対象としたグループワーク

12月20日（月）午後6時30分～午後8時30分 於 犬山市役所2階205会議室

ファシリテーター：中京大学現代社会学部非常勤講師 加藤武志氏

アドバイザー：特定非営利活動法人全国移動サービスネットワーク副理事長 河崎民子氏